

保護者・生徒の皆様へ

令和 7 年 3 月 7 日
大阪府立富田林高等学校
校長 田中 肇

令和 6 年度学校教育自己診断結果について

向春の候、保護者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、先日実施いたしました学校教育自己診断の結果が集計できましたので、全校生徒からの回答を中心に、その内容の一部をご紹介します。自己診断結果の全容につきましては、別添の資料をご参照ください。また、同内容を本校ホームページにも近日掲載予定です。生徒の皆さんには、自分の学校生活の振り返る際に役立ててください。

生徒の肯定的評価は過去最高

右のグラフの通り、生徒の全質問項目に対する肯定的評価の割合は 90.1% となり、昨年度の 89.3% を超えて過去最高となりました。今年度は、「授業」「探究活動」「グローバル教育」に対する評価が向上したことなどが、全体の数値の上昇につながったと考えられます。

生徒の肯定的評価



授業への評価は高水準を維持、1人1台端末の活用の推進

「わかりやすく興味を持てる授業が多い」「内容を深く考えさせる授業が多い」といった授業に関する質問項目について、前者は 89.1%、後者は 88.4% の生徒が肯定的に回答してくれています。特に後者の「内容を深く考えさせる授業が多い」については、過去最高の数値となりました。本校では、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりのために、研究授業や研究討議を通して、学校全体で授業改善に取り組んでいます。今後もさらに質の高い授業を提供できるよう取組みを進めてまいります。

また 1 人 1 台端末の活用についても、肯定的評価の割合が昨年度の 86.8% から約 6 ポイント増加して 93.0% となりました。朝学習の英語の学習時間にも、1 人 1 台端末を活用しています。今後も効果的な活用に向けて、学校全体で模索を続けてまいります。

探究活動の充実、進路指導に対する評価も高水準を維持

今年度から、高校2年生においても全生徒が探究活動に取り組むことになりました。その結果、「探究などの学習活動によって深く考える力、情報を収集する力、発表する力が身につく」といった「探究活動」に関する質問項目において、生徒からの肯定的評価が過去最高の87.9%となりました。探究活動を通して、全生徒が主体的な課題発見能力や論理的思考力を身につけられるよう、さらに取組みを充実させていきたいと考えております。

進路指導に関する質問項目に対しても、高い水準の評価を維持しています。各学年で定期的に進路に関する集会を実施し、最新の進路情報、模試等の振り返り、教科別の学習方法など、学習の目的をより明確にしながら、進路指導を行っています。「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」「学校の授業や講習で、進路達成に必要な学力が身につく」などの項目において、生徒からの評価は共に9割を超え、肯定的なものとなっています。来年度も引き続き、より体系的な進路指導ができるように取組みを進めてまいります。

グローバル教育や学校行事など、多くの項目で保護者の皆様の評価も過去最高

保護者の皆様からの全質問項目に対する肯定的評価は88.1%であり、昨年度に引き続き過去最高となりました。「学校は海外修学旅行、海外研修、国際交流等を通じてグローバルな視野やコミュニケーション力の育成に努めている」「学校は様々な教育活動(授業・行事・部活動等)を通じて、社会への貢献意識や将来社会で活躍する力の育成に努めている」といった質問項目において、前者は93.6%、後者は94.4%と過去最高の評価をいただきました。

「グローバル教育」に関しては、高校2年生でのベトナム修学旅行、希望者対象のネパール研修やマレーシア研修、さらには台湾(姉妹校)からの訪問団の受け入れなどを実施しました。また今年度は、交換留学制度を利用して留学生を受け入れることで、日常的な国際交流の機会も増加しました。来年度も、さらに取組みを充実させ、グローバルな視野とコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。

また今年度は、コロナ禍で開催を見送っていた「コーラス大会」を高校1年生で実施するなど、学校行事に関しても充実を図ってまいりました。今後も、生徒が主体的に取り組む、豊かな人間性を涵養する教育活動となるよう、学校全体で取組みを進めてまいります。

自由記述においても皆様から様々なご意見をいただきました。個人情報保護の観点などから公表は控えますが、教職員はもとより、学校運営協議会においても共有化を図り、今後の教育活動に生かしてまいります。学校教育自己診断へのご協力、誠にありがとうございました。